指導参考事例②

テーマ ： 薬物乱用について考えよう

1．本時の目標

○私たちの周りにはニコチン、アルコールなどの様々な化学物質があること、また、心身の健康に大きな影響を与える危険な薬物があることを理解できるようにする。

○薬物乱用は、「依存症（やめたくてもやめられなくなる状態）」を引き起こすことを理解できるようにする。また、たばこやお酒についても同様の性質があることを理解できるようにする。

○薬物乱用が大人の証やかっこいいことではないこと、また、友だちとの間で薬物を勧めたり、勧められたりすることが本当の友情ではないことを理解し、誘われた際の対処法を学ぶ。

○自分の心や体を大切にし、自分の健康や行動に責任を持つことの大切さを理解できるようにする。

2．ねらい

1）薬物乱用すると、どうなるのかを理解する。

①心身への影響について

・特に、薬物は脳に深刻な影響を及ぼし、意識障害や幻覚、記憶力・学習能力低下など、生涯にわたって回復が困難な障害につながる場合があることに留意する。

・不安、薬物への渇望、性格の変化、感情の抑制不能などが生じる。

②依存

薬物乱用には、やめたくてもやめられなくなる性質（依存性）があることを理解する。

③社会的な影響について

家族や友人からの孤立、学力の低下、家庭内暴力、金銭問題、犯罪の誘発など、薬物乱用は身体的・精神的影響だけでなく、それまでの学校生活や家庭生活に深刻な影響を及ぼすなど、社会的損失も非常に大きいことを理解する。

2）実際に誘われた場合の「断り方」をひとつでも多く考え、課題を自分事と捉え、自分で考えるとともに、他者の意見を聞いて自分の考えを深める。

◆薬物乱用は、好奇心や興味本位、その場の雰囲気などによるたった 1 回のみの使用でも乱用にあたることを理解する。

①「仲間外れにされる」「仲の良い友だちだから断りづらい」と思うかもしれないが、心身に悪影響を及ぼすものを勧めることは、本当の友情ではないことを理解する。

②「はっきり、きっぱり」断ることで、相手が諦めやすくなる。

③言葉で断れない場合は、少しでも早くその場から立ち去ることが重要。

④8ページで学習した「くすりの大切なルール」に当てはめて考えることで、相手の話が正しくないことに気付くことができるようにする。

⑤誘われて困った際は、一人で悩まず、信頼できる大人や相談窓口に相談できることを知る。

⑥薬物から自分を守るために、自分自身を大切に思う心を育てる。

◆薬物を乱用することは「個人の自由」と考えていないだろうか。

薬物乱用は、自分の心と身体に大きなダメージを与えるだけでなく、家族や友人など周りの大切な人たちを悲しませる。

社会全体の安全を脅やかす違法薬物の使用は、「個人の自由」と認められるものではない。

◆授業スライド（例）　◆教員向け説明資料（例）

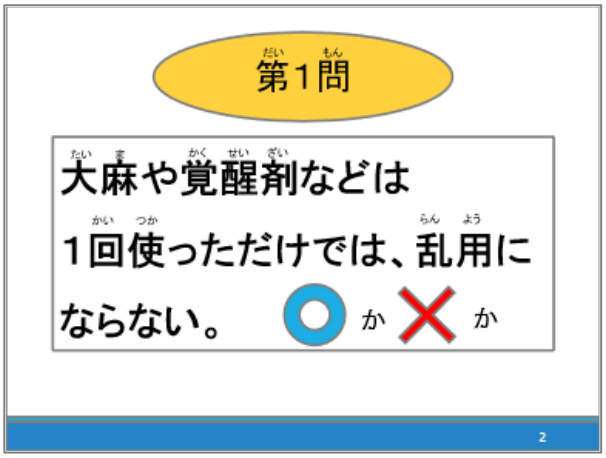
スライド1　**薬物乱用防止クイズにトライ!**



●スライド説明用　★教員向け指導内容

★薬物乱用に関する児童の理解度や意識を確認するためのスライド。
授業の導入、DVD 視聴後、授業のまとめなどに活用し、学習前後の理解の変化や学習内容の定着状況を把握することが可能。

スライド2　**1回でも乱用？**



●薬物乱用とは、大麻、覚醒剤などの違法な薬物を使用すること。また、医薬品等も、決められた方法や量を守らずに使用することは薬物乱用にあたる。（テーマ①より）

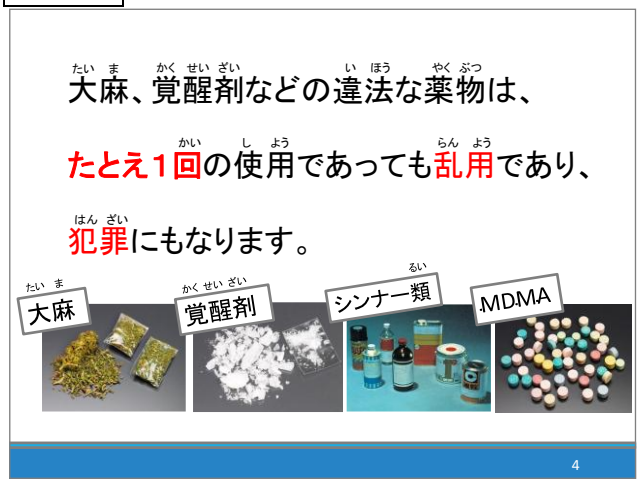
スライド3　**何回も使用することが乱用ではない**



●大麻、覚醒剤などの違法薬物は、たった一度の使用でも薬物乱用である。

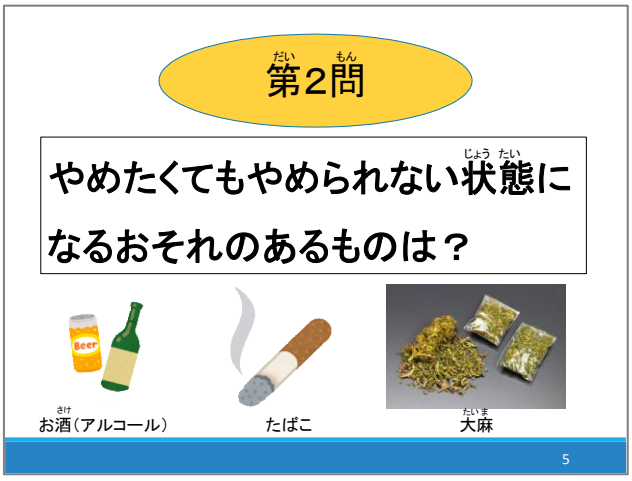
★覚醒剤などは、小学生にとって身近なものではないが、その危険性や誘惑の手口を理解させ、絶対に使用してはならないことを繰り返し指導する必要がある。

スライド4　違法薬物の使用は一回でも犯罪



★「違法薬物は、使用することはもちろん、所持することも、あげたりもらったりすることも禁止されている」ことを誤解のないよう明確に伝えること。

スライド5　止めたくても止められなくなる物どれだ？

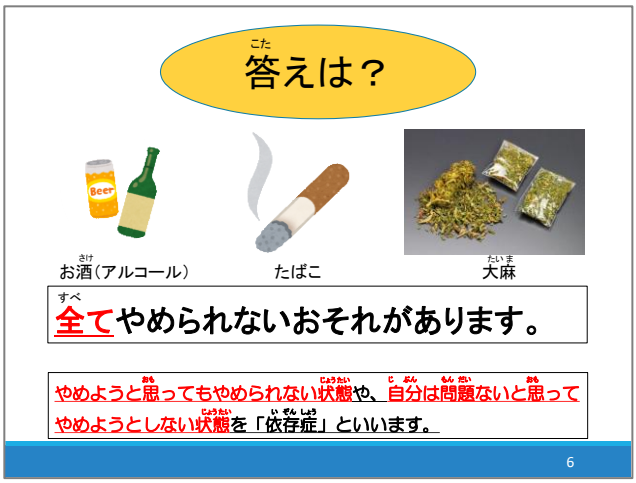


●依存症のきっかけとなる物質は多く、代表的なものは、20 歳未満の摂取が禁止されているたばこ（ニコチン）やお酒（アルコール）がある。

★子どもは、どのような反応を示し、どのような考えを持つのでしょうか。

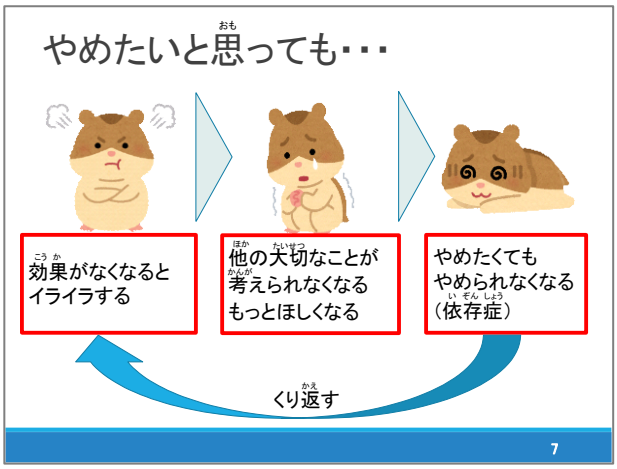
〈予想される反応〉
・大麻だけかと思った。
・他にもあるの知ってる
・たばこやお酒って止められなくなるの？

スライド6　依存症の可能性はどんなものにもある



●子どもにとって、たばこやお酒は、違法薬物よりはるかに身近な存在である。20 歳未満での使用は心身の健全な発達に悪影響を及ぼすため「20 歳になるまで使用しないこと」を主眼に置き、発達段階に応じて依存症（やめたくてもやめられない、自分は問題ないと思ってやめようとしない状態）について理解させること。

スライド7　やめたいのに、やめられない



●薬物乱用の特に恐ろしい点は、その強い依存性にある。

★やめたくてもやめられない、自分は問題ないと思ってやめようとしない状態（依存症）は、自分の力では抜けだすことが困難であり、適切な判断もできなくなることなどを中心に、「一度だけなら大丈夫」という考えが誤りであることを理解させる。

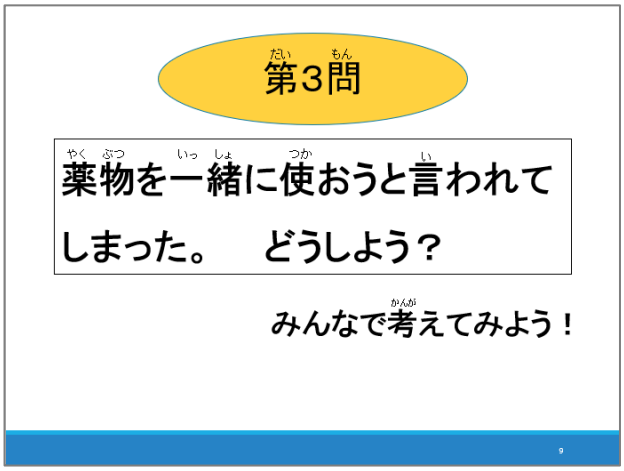
スライド8　成長期には悪影響が大きい



●たばこに含まれるニコチンやアルコールは、成長期の心や体に悪影響を与える。また、大人よりも早く依存してしまうおそれがある。

★禁止されているにもかかわらず、たばこやお酒を経験すると規範意識が薄れ、薬物に対するハードルが下がることについて触れる。

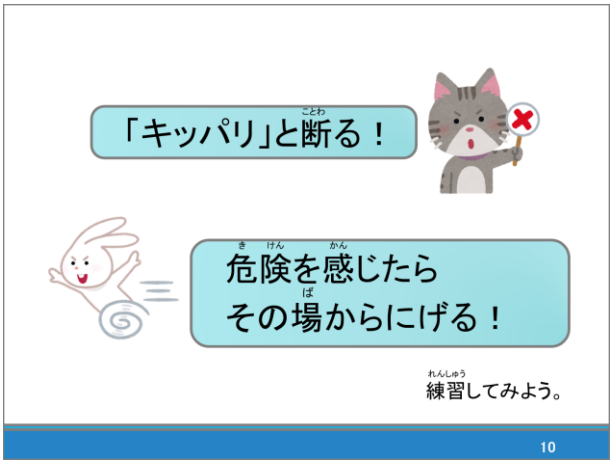
スライド9薬物使用を誘われたら・・・



※このタイミングで断り方のロールプレイを実施するなど。

〈予想される反応〉
・断る自信がある
・断る自信がない
・自分には関係ない事だ

スライド１０　断り方、逃げ方　練習しましょう。

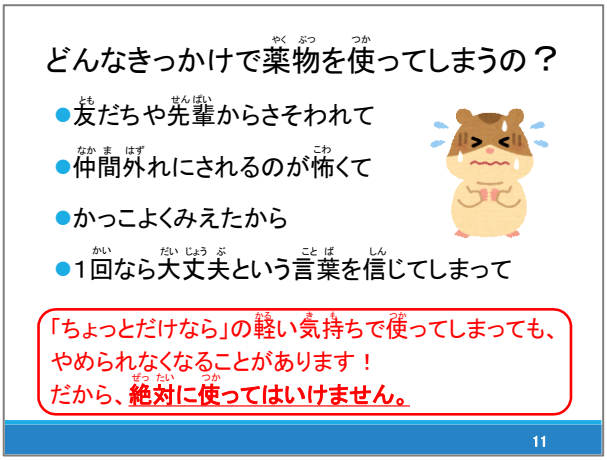


★友だちや先輩、知らない人から薬物の乱用を誘われた際の対処法を理解させること。

●薬物に誘う人は、「気分がスカッとするよ」「みんなもやってるよ」などと甘い言葉で近づいてくるが、「私には必要ない」と、きっぱりと断ること。

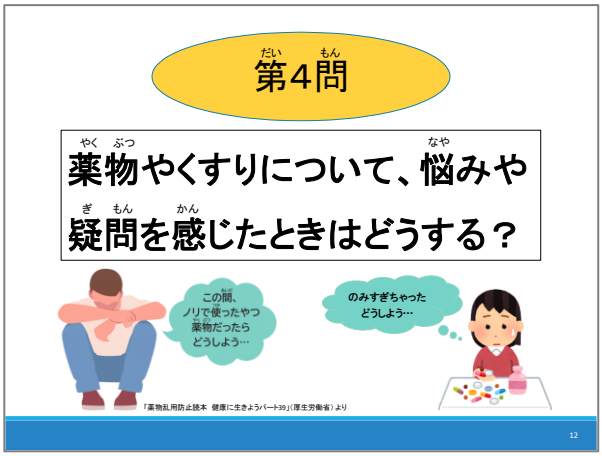
●危険な場所に近づかないこと。危険を感じたら、その場から離れ、人のいる明るい方向に走って逃げること。

スライド １１　薬物を始めてしまうきっかけは？



★薬物を使用してしまう理由は様々であり、友だちや先輩に誘われた、仲間外れにされることを恐れた、好奇心を抑えきれなかった等、ふとしたことがきっかけとなる。決して他人事ではなく誰の身にも起こり得る問題であることを理解させるとともに、薬物の危険性を踏まえ、薬物は自分には必要ないと判断し、誘いを断る力を身に付けられるよう意識づけること。

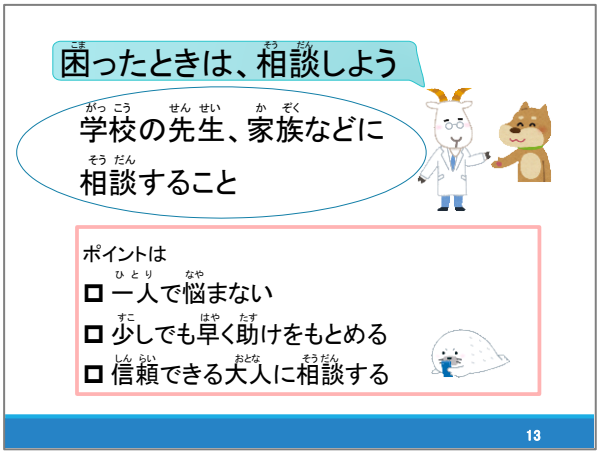
スライド 12 薬物などで悩みがあるときは？



●薬物や市販薬に誘われたときや、不安なこと、分からないことがある場合はどうすればよいかを考える。

★薬物の問題は、本人が依存や乱用の状態を十分に自覚していない場合も少なくない。そのため、友人や家族など身近な人からの「やめた方がよい」「相談してみよう」という働きかけが、相談や支援につながる重要なきっかけとなることがある。問題を隠したり容認したりするイネイブリング（問題行動を支えてしまう関わり）にならないよう留意し、困ったときには周囲の人や専門機関に相談し、必要な支援につながることの大切さを理解させること。

スライド 13 大事なことなので相談しましょう。



★一人で抱え込まず、学校の先生や家族等の周りの信頼できる大人に相談するよう指導する。

★もし、周りの大人に相談しにくい場合に備え、匿名で相談できる相談窓口があることも触れること。（データ編 P24「薬物乱用防止に関する相談窓口」参照）

◎断り方を示すロールプレイの例及びワークシート

こんな誘われ方をしたら、どうやって断る？　後に続く言葉を考え、書き出してみましょう。

1）このところ成績が下がり気味で、先日のテストの点数もよくなかった。

勉強のことで親とけんかをして夜に家を飛び出した。イライラしながら公園にいると、学校の上級生ふたりから声をかけられた。

「どうしたん。元気ないやん。めっちゃ元気が出るサプリあるからあげるわ。」

「俺らもパワー不足のときは絶対これ飲むねん。一回飲んでみいや。」

私の考え

グループの考え

2）友だちの家でゲームをしていると、友だちのお兄ちゃんの友だち3人が遊びに来た。

初対面であったが、話が面白く、すぐに仲良くなった。しばらくすると3人のうちひとりがたばこのようなものを出して吸い始めた。他の2人と友だちも一緒になって吸い出し、友だちから「一緒に吸おう。スカッとするで。」と勧められた。

私の考え

グループの考え

3. 進行表　〈展開編　30 分〉

時間	活動	○：指導上の留意点
13 分	導入　薬物乱用についてクイズを行う。 ・違法薬物の使用はたった一度でも犯罪になる。 ・依存症は、やめたくてもやめられない状態 ・薬物使用を誘われた際の対応	○本時の学習への意欲付けを図る。
10 分 （23 分）	ロールプレイ	○教職員同士が誘い役と断り役に分かれて見せるケースと、子どもに断り役を務めてもらうケースを想定。 ○ロールプレイ前後で子どもの考えに変化があるか感想を聞く。
5 分 （28 分）	グループワーク等で意見を交流し、考えや知識を深めさせる。	○スライドおよびロールプレイを経て、「やってはいけないことは何か」、「危険な状況ではどうするか」グループ内で意見交換して、共通のルールとして認識し、記憶への定着を図る。
2 分 （30 分）	まとめ	○本時のまとめとして、目標を再度確認し、危険な薬物乱用から自分自身を守ろうとする意識を育む。